

学士院賞に9人

東大・河西氏
恩賜賞も受賞

日本学士院は14日、優れた業績を表彰する日本学士院賞に、大脳のシナプスが学習に伴って形態や機能を素早く変えることを発見した河西春郎（65）ら9人を選んだと発表した。河西氏には恩賜賞も贈る。自然保護分野の優れた研究を隔年でたたえる日本学士院エンジンバラ公賞に、大河内直彦・海洋研究開発機構海洋機能利用部門長（55）を選んだ。

受賞者と理由は次の通り。（敬称略）

【日本学士院賞・恩賜賞】
河西 春郎（かさい・はるお）東大教授、生理学・神経科学。大脳のシナプスが学習に伴って形態や機能を素早く変えることを発見した。65歳。
【日本学士院賞】



武田 晴人（たけだ・はるひと）東大名誉教授、日本経済史。戦前の三大財閥の歴史を踏まえて経営戦略を決定し、資金調達、活発に活動したと解明した。72歳。
侯 召民（こう・しょうみん）理化学研究所主任研究員、有機希土類金属化合物の構造や性質を明らかにして合成技術を開発。新機能材料を創出するなどした。60歳。



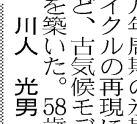
研究員、有機希土類金属化合物の構造や性質を明らかにして合成技術を開発。新機能材料を創出するなどした。60歳。



斎藤 英治（さいじょう・えいじ）東大教授、物性物理学。逆スピンホール効果の発見でスピンの検出原理を確立するなど、スピントロニクス分野を先導した。50歳。



阿部 彩子（あべ・あやこ）東大教授、地球物理学・気候学・地球惑星科学。10



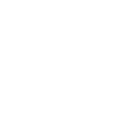
川人 光男（かわと・みつお）国際電気通信基礎技術研究所脳情報通信融合研究所長、計算論的神経科学。



野田 進（のだ・すすむ）京都大学教授、量子電子工学。極限的に制御する道を開拓。スマート社会に不可欠なレーザーなどに適した高出力、高品質の光ビームを出せることも実証した。61歳。



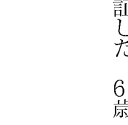
村上 章（むらかみ・あきら）京大理事・副学長、農業工学。地盤変形予測法を確立し、グムの崩壊予測などを可能にした。63歳。



白土 博樹（しらと・ひろき）北海道大学教授、医学・医理工学。動いている臓器のがんを正確にエックス線



村上 章（むらかみ・あきら）京大理事・副学長、農業工学。地盤変形予測法を確立し、グムの崩壊予測などを可能にした。63歳。



白土 博樹（しらと・ひろき）北海道大学教授、医学・医理工学。動いている臓器のがんを正確にエックス線



大河内 直彦（おおの・ちなおひこ）海洋研究開発機構海洋機能利用部門長、地球科学。炭素、窒素同位体の自然存在比を精密に測定する分析技術を開発。環境解析に成果を上げた。55歳。



大河内 直彦（おおの・ちなおひこ）海洋研究開発機構海洋機能利用部門長、地球科学。炭素、窒素同位体の自然存在比を精密に測定する分析技術を開発。環境解析に成果を上げた。55歳。